



2011年4月1日 第12号  
障害者の社会参加、自立・就労支援



〒302-0027  
取手市駒場4丁目5-24  
TEL/FAX 0297-73-8361 (平日の10時~15時)  
メール npo\_ikiru@ybb.ne.jp  
http://www7a.biglobe.ne.jp/~npoikiru/

ごあいさつ

理事長 染野 和成

日頃、「NPO 法人活きる」に対し、ご協力とご支援をいただきありがとうございます。

「活きる」は今年、6年目を迎えました。昨年は法人として障害を持つ人の就労支援事業の見直しを計り、残念ながらあるものは廃止、又は縮小の方向で進みました。

原因としてはお手伝いいただけるボランティアさんの確保が難しかったり、また当事者からの「これこれをしたい」という積極的な提案が出なかったことにあると考えます。当事者の一人として自分も反省しているところでもあります。

そんな状況を踏まえて今年度は、在宅の障害を持つ会員の支援を考えております。昨年夏前から始めた「活きるサポート」の充実を目指します。近い将来、障害福祉サービスの介護職員の人数、居宅事業所の数の低下等が考えられる昨今、今からの自衛手段として考えておく必要性を感じております。「活きるサポート」は現在、少ないボランティアさんの協力で支えられていますが、さらに人数の確保に努めていきたいと思っています。

有償福祉移動サービス「いくべ〜」同様、「活きる」の中で大きく育てていくつもりでおります。もちろん、外出の機会に恵まれない在宅の重度障害者に対してもこれまで同様、楽しみながら参加できるものも企画していきます。しかしながら、お手伝いしていただくボランティアさんの確保もこれもまた難しく、頭を悩ませているところです。気軽に参加できるようにしていきたいと考えています。

「活きる」は多くの人たちに支えられてここまでやってこられました。それでもまだ一部の人たちに負担がかかってしまうのも事実です。

最後に皆さんにより一層のご支援をお願いし、新年度のご挨拶といたします。

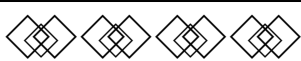
ご存知ですか？

健康保険で在宅マッサージが受けられます！

お問い合わせ、ご相談などお気軽にご連絡ください。

オリエンタル治療院

〒301-0041 茨城県龍ヶ崎市若柴町 2183-9 TEL 0297-65-0985 FAX 0297-65-3323



# ネットワークフェア



平成22年11月20日

取手市恒例のネットワークフェアが今年も取手市櫛木の総合運動公園で開催されました。天気予報では雨だったのですが、予想外の青空が見える暖かい好天になりました。「NPO法人活きる」は例年通り、笠間焼のユニバーサル食器の展示販売とバザーを出展しました。

今年は、今までとは大きく運営が変わり、出展ブースが体育館や駐車場付近と、昨年までのメイン会場だったグラウンドと広範囲に設置されました。大きなグラウンドにテントが10張り程度の出展になり、なんとなく寂しい景色になっています。いつもなら、だいたい、各団体のブースの設置場所が決まっていたので、1年ぶりに他団体の人や障害者たちと会って交流していたのに、今回はみんなどこにいるかわかりませんでした。お客さんも分散してしまい、人の流れもまばらになっています。

でも、そんな中、わざわざ、訪ねてくれる人がいたり、こちらからも、歩き回って、交流に努めました。お客さんもポツポツとですが来ていただき、バザーの売り上げもまずまずで、活動資金の足しになりました。笠間焼はバザーと比較して若干値が張るので毎年大きな売上には繋がりません。でも、笠間焼で使い易い食器があるんだよと紹介するのが大きな目的なので、その成果はあったと思います。

ここに、開催に当たって尽力された関係者、出展に協力してくれたメンバー、そして多くのバザー用品を提供していただいた方々に感謝します。

来年の開催に当たっては、今年の問題点を検討して、参加協力者が参加しやすく、より盛り上がるイベントになってくれたらと思います。

(記 S.M)

## <参加者の声>

3回の実行委員会が行われ、市制40周年ということで前年とは違うところが多くあり、特に開始時間が大分速くなり、私は、荷物の積み込みの為、朝7時に家を出ることになり「きついな～」と感じました。「活きる」では笠間焼とバザーの出店で、お天気は良かったけど、売り上げは昨年に比べ大幅ダウン。でも、いつものメンバーと一緒に協力して、和気あいあいと出来たことを満足におもいます。

(記 H.W)



## ◆◆◆ おねがい ◆◆◆

### バザー出店の為、不要品提供のお願い

ご家庭でいらなくなって、まだ、十分使用できる品物のご提供をお願いいたします。ご提供される品物は、直接「活きる」の事務所へご持参いただくか、ご連絡いただければ取りに伺います。

## NPO法人 **活きる** の **魚販売**

### 鴨川直送冷凍水産品

<例>魚 (アジ・サンマ等) のひらき

- ・手開き
- ・自然塩
- ・天日干し
- ・食品添加物なし

- 電話/FAXでの注文を承ります。(両店共通 TEL/FAX 0297-73-8361)
- 1,000円以上お買い上げで、ご希望の方は、配達致します。(但し、取手市内に限ります。又、配達料100円お支払いください。)

■ 新取手店  
販売日  
毎週水曜日午後1時～午後3時

■ 駒場店  
販売日  
月曜日～金曜日(祭日を除く)  
午前10時～午後3時

# ◆◆◆ リハビリスポーツ ◆◆◆

平成23年 1月 23日

平成23年最初のリハビリスポーツを開催しました。今回はいつもの会場が使えなくて、取手市福祉会館のレクリエーション室での開催となりました。今回は19人の参加のうち車椅子の方が9人と大盛況でした。ちょっと、健常者のボランティアさんの参加が少ないので、準備や介助の手が足りません。そんな中、O/T志望の大学生の女性が参加してくれたのは大変嬉しかったです。(注:O/Tとは、作業療法士の略で、日常生活に必要な動作を、作業訓練により指導したり援助し、身の回りのことを主体的に対処できるようにするリハビリテーションのスペシャリストです。)

さて、今回は会場が狭かったので、車椅子スラロームはやりませんでした。

まずは、ポッチャです。赤組・青組に別れて対抗戦をしました。4回投げて結果は青16—赤0で赤組の惨敗でした。続いてスポーツ吹き矢です。みんな、随分慣れてきて高得点を狙っています。昼食前に軽く頭の体操として古今東西ゲームをしました。みんなカラダを動かすのは好きだけど、頭を働かせるのは一寸苦手です。

昼食後に、今回の目玉種目である、ビームライフルを試しました。今回も来ていただいた障害者スポーツ指導員のO先生が2セット持ってきてくださったのです。肢体不自由者がライフルをうまく撃てるか心配でしたが、いろいろ工夫をしていただき、ほとんど全員がうまく撃てることを確認しました。若干、道具を使わないと難しい方がいたので、今回は簡単な器具を使って試します。結果、約7m離れた小さな的に全員が当てることができました。特に女性二人が10点満点を射止めたのはびっくりです。

最後は、いつもの風船バレーで白熱した戦いを大騒ぎで楽しみました。

今年1年、リハビリスポーツで楽しみましょう。そして、ボランティアさん、ご協力よろしくお願い致します。(記 S・M)



## アピール ウォーク

平成22年12月11日

とりで障害者協働支援ネットワークが、毎年障害者週間に実施しているアピールウォークは「地域で安心して暮らしていける社会を目指して」行っている行事です。昨年12月11日のアピールウォークは、晴天の冬空の下で障害を持つ人、家族、支援者など60名が、福祉交流センター前から取手駅西口までアピールしながら歩きました。再び福祉交流センターに戻り、おいしいカレーライスで昼食をとり、午後からは「とっておきの芸術祭」のオープニングセレモニーと演芸や演奏を楽しみました。(記 村上節)



<サンタクロース>より

昨年12月11日、「とりで障害者協働支援ネットワーク」主催のアピールウォークに参加しました。14団体が集まって総勢60人余が市役所内の福祉交流センターから、取手駅西口まで行進したのです。デンクル染野は毎年、サンタクロースの姿になり、ぶら下げた袋にはチロルチョコを詰めて通りかかった子供たちにプレゼントしながら走るのです。年々子供たちが減ったり、シャッターが閉まっている店が増えたりと、社会情勢を感じる(笑)ことも出来ます。来年サンタクロースの私を見かけたら是非、お声を掛けてください。

# 2011年 活きる 新年会

平成23年1月9日

## 「年頭の挨拶」を理事長から

新年明けましておめでとうございます。今年は「障害者支援」という立場から、昨年夏前に始めた「活きるサポート」に力をかけたいと思っています。会員の皆様には、昨年に引き続き無理を承知でたくさんのことをお願いすると思いますが、よろしく願い申し上げます。

### 新年会に参加して

1月9日に行われた“活きる”の新年会に出席させて頂きました。初めて出させて頂いた新年会でしたが、久しぶりに見るお顔、初めての方と会場いっぱい大勢の方がいらしてとてもうれしく思いました。皆で食事をしながら、またお酒も少し入り、にぎやかに楽しく新年のひと時を過ごすことができました。あらためてNPO法人“活きる”が沢山の方々に支えられていることを感じた新年会でした。

年に一度ぐらいは“活きる”ファミリーが一堂に会し、普段は話す機会のない方と会話し親睦を深めるのも良いものですね。卯年の2011年、“活きる”もウサギのようなピョンと飛躍の年になりますように！！  
(記 M・I)



## ◆ 活きるサポートより ◆

東北地方太平洋沖地震で被災に遭われた方々に心よりお見舞申し上げます。

また、取手市に非難を余儀なくされた南相馬市の方々には取手市民全員で快適な避難生活ができるように応援したいと思います。

全国的に公的サービスだけでは弱者の生活が成り立たなくなってきた、新たなサービス提供の機運が高まっています。全国社会福祉協議会では市民活動で生活支援を広げていくための研究事業を立ち上げ、NPO法人「活きる」も参加しました。また、菅総理が昨年パーソナルサポート制度を提案しました。パーソナルサポートとは障害者(制度での対象は社会的弱者全部)が介助者(プロでなくても可)を指名し個人契約してその費用の一部を国が負担する制度。これにより、マンツーマンで木目の細かいニーズに対応することができるし、継続的に利用することができます。(旧全身性障害者介護人派遣制度に似た制度)

以上のように、まさしく「活きるサポート」の目的に近いことが全国的に必要とされ、制度化も考えられています。「活きる」の重度障害者会員は公的サービスだけでは、生活が成り立たない人も多く、技術的にもコツのいる個別対応が必要です。「活きるサポート」は、始めたばかりで、まだまだシステム化されていないし、サポーターも利用会員も慣れていないのでスムーズにいきませんが、ゆっくりと問題点を話し合いながら、双方が使いやすい活動を目指します。

活動を初めて、半年経ちますが、当事者会員および家族とボランティアさんが顔を合わせる機会がなかったため、3月22日(火)に当事者とボランティアが全員集まって交流会を計画しました。お互いを知ること信頼関係づくりのきっかけになればと思ったのです。しかし、3月11日(金)14時46分にあの巨大地震が発生しました。この取手にも多くの家屋や設備に被害がありました。当事者会員の中には引越しを余儀なくされた方もいました。予定していた交流会は改めて開催することにしました。

## ありがとう

寄付

- オリエンタル治療院 60,000円
- 移送利用者さん 3名
- バザー提供品

ご協力ありがとうございました。

今後の「活きる」の活動に、  
有効に利用させていただきます。

「活きる」の活動は、本来、障害当事者会員を守る為のもので、今回の地震でも仲間の支援ができたと思っています。直接、災害支援のお役に立つことはなかなか難しいのですが、この機会に自分たちのできることを考える良い機会になったと思います。

また、外出支援の福祉移動サービスは、ガソリンの調達が難しい中、ボランティアさんたちの努力で、一部の利用者様にご迷惑をかけたものの、ほとんど正常に機能させていました。

(記 宮脇貞夫 3月23日)

